

エコアクション21

環境活動レポート

大東カカオ株式会社

(期間 2018年4月1日～2019年3月31日) 2019年8月22日発行



1. 組織の概要	2
2. 対象範囲	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標	
(1) 中井工場 2018～2020 年度	4
(2) 本社・地方営業所 2018～2020 年度	5
5. 2018 年度環境目標の達成状況	
(1) 中井工場	6
(2) 本社・地方営業所	7
6. 2019 年度環境活動計画と取り組み内容	8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

大東カカオ株式会社 代表取締役社長 竹内 成行

資本金 : 15 億 8,666 万円

2018 年度売上高 : 169 億 5,000 万円

従業員数 : 348 名 (2019 年 3 月 31 日現在)

(2) 所在地

認証・登録範囲:	中井工場	神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 2753
	本社	東京都目黒区下目黒 2-3-23
	北海道営業所	北海道札幌市白石区南郷通 1 丁目北 2-39
	中部営業所	愛知県名古屋市中区錦 1-4-25
	関西営業所	大阪府大阪市淀川区西中島 5-3-4
	九州営業所	福岡県福岡市中央区大手門 2-9-29

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理統括責任者 中井工場長 高野 幹夫

【中井工場】

環境管理担当者 管理部 総務環境保安課 笹生 一利

連絡先 TEL : 0465-81-4515 FAX : 0465-81-4511 e-mail : sasou@daitocacao.co.jp

【本社・地方営業所】

環境管理担当者 人事総務グループ 岡地 秋男

連絡先 TEL : 03-5436-7011 FAX : 03-5436-7050 e-mail : a_okaji@daitocacao.co.jp

(4) 事業活動の内容

チョコレート、ココア製品の製造・販売

(5) 事業の規模

中井工場	①従業員数	212 名 (2019 年 3 月 31 日現在)
	②延床面積	22,252 m ²
	③年間生産量	22,980 t (2018 年度 製品生産量)
	※①②③は中井工場の数値	
本社	①従業員数	120 名 (2019 年 3 月 31 日現在)
	②延床面積	1,937 m ²
北海道営業所	①従業員数	4 名 (2019 年 3 月 31 日現在)
	②延床面積	83 m ²
中部営業所	①従業員数	4 名 (2019 年 3 月 31 日現在)
	②延床面積	62 m ²
関西営業所	①従業員数	5 名 (2019 年 3 月 31 日現在)
	②延床面積	93 m ²
九州営業所	①従業員数	3 名 (2019 年 3 月 31 日現在)
	②延床面積	49 m ²

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

大東カカオ株式会社 中井工場、本社・地方営業所 (北海道、中部、関西、九州)

(2) 認証・登録対象活動

当社が生産する製品の生産、引き渡しまでの業務、全従業員

3. 環境方針

環境理念および環境方針の設定

企業活動において今後、益々環境への取組み姿勢がその評価の視点として強く問われてきます。今回、大東カカオとしての「環境理念」、「環境方針」を明確に定め、環境問題へ真剣に取組む姿勢を打ち出したいと考えます。

「環境理念」

大東カカオは、食文化の発展に貢献すべく、お客様に安心してお使い頂けるチョコレート原料メーカーとして、弛まぬ努力を続けてまいります。大東カカオは、自然と共生する企業体として食と健康をお届けすることを使命と考えております。

「環境方針」

大東カカオは、企業活動によって生じる環境負荷の継続的改善を目指し、次の事項について環境目標や活動計画を定めて取り組みます。

○環境法令の遵守

関係する環境関連法規、条例等の内容を正確に把握し、遵守します。

○省エネ、二酸化炭素排出量の削減

生産工程や事務所等においてエネルギー使用の効率化に努め、二酸化炭素排出量の削減を進めます。

○廃棄物排出量の削減

廃棄物の発生抑制・再資源化等により、産業廃棄物発生量の削減に努めると共に、適正処理を徹底します。また食品廃棄物は発生抑制と共にリサイクル等を進め、食品資源の有効活用を推進します。

○水、化学物質等の管理

水の使用量を監視し有効活用 to 努めると共に、排水水質の基準を遵守します。製造工程で使用する化学物質の性状等を把握し、使用量を適正に管理し万一の環境汚染が発生しないよう対策を立案します。

○環境配慮活動の推進

地元と連携した取組み、環境に配慮した資材の購入等、企業活動全般に渡って環境に有益な活動への取組みを進めます。

○グリーン購入の推進

事務用品等のグリーン購入を積極的に進めます。

○環境教育の実施

計画的に環境教育を実施し、上記内容の全従業員への周知徹底を図ります。

○情報公開

環境への取組み内容を年次環境レポートにまとめ、公表します。

2013 年 7 月 1 日 代表取締役社長 竹内 成行

4. 環境目標

(1) 中井工場 2018～2020 年度（2017 年度を基準年度とする中期目標）

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
【1】 二酸化炭素排出量 原単位 kg-co ₂ /t	基準年 415	1%削減 411	2%削減 407	3%削減 403
【1.1】 電力使用量 原単位 kWh/t	基準年 621	1%削減 615	2%削減 609	3%削減 602
【1.2】 都市ガス使用量 原単位 m ³ /t	基準年 50.5	1%削減 50.0	2%削減 49.5	3%削減 49.0
【2】 産業廃棄物 排出量 t	基準年 842	1%削減 817	2%削減 791	3%削減 766
【2.1】 動植物系残渣 排出量 t	基準年 527	1%削減 511	2%削減 496	3%削減 480
【2.2】 廃プラスチック 排出量 t	基準年 297	維持継続 288	維持継続 279	維持継続 270
【2.3】 食品リサイクル率 実施率%	基準年 95.0	1%削減 95.0	2%削減 95.0	3%削減 95.0
【3】 水使用量 原単位 m ³ /t	基準年 2.82	1%削減 2.79	2%削減 2.76	3%削減 2.74
【4】 化学物質購入量 原単位 g/t	基準年 8.7	1%削減 8.7	2%削減 8.7	3%削減 8.7
【5】 グリーン購入 購入品目数	基準年 80	維持継続 80	維持継続 80	維持継続 80
【6】 環境配慮活動 活動件数	基準年 9 件	9 件以上	9 件以上	9 件以上

※ガソリン・軽油を除く

※購入電力の排出係数 0.486（東京電力エナジーパートナー(株)2016 年度実排出係数）

※2017 年度生産量 22,494t 基準で原単位換算



↑ 中井の環境を良くする会出店の様子



↑ なかい美緑フェスティバル出店の様子

(2) 本社・地方営業所 2018～2020 年度

※購入電力の排出係数：(2017 年度：0.418)

削減目標	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
【1】 二酸化炭素排出量	基準年	1%削減	2%削減	3%削減
実績値: t - CO ₂	285	282	279	276
【1.1】 電力使用量	基準年	1%削減	2%削減	3%削減
実績値: 千 kWh/t	569	563	558	552
【2】 産業廃棄物排出量	基準年	1%削減	2%削減	3%削減
実績値: t	45.9	45.4	45.0	44.5
【2.1】 動植物系残渣排出量	基準年	1%削減	2%削減	3%削減
実績値 :t	14.0	13.9	13.7	13.6
【2.2】 一般廃棄物排出量	基準年	1%削減	2%削減	3%削減
実績値 :t	20.6	20.4	20.2	20.0
【2.3】 焼却廃棄物	基準年	1%削減	2%削減	3%削減
実績値 :t	11.3	11.2	11.1	11.0
【3】 水使用量	基準年	1%削減	2%削減	3%削減
実績値 m ³	2,110	2,089	2,068	2,047
【4】 化学物質管理の適正管理	使用数量の把握	使用数量の把握	使用数量の把握	使用数量の把握
【5】 環境配慮活動 活動件数	2 件	2 件以上	2 件以上	2 件以上



本社周辺清掃の様子

5. 2018 年度環境目標の達成状況

(1) 中井工場

(2018 年 4 月～2019 年 3 月)

	目標値	実績	主な取組内容	評価	2018 年度取組み結果
【1】 二酸化炭素 排出量 原単位kg-co ₂ /t	1%削減		電力使用量削減 ガス使用量削減	×	民間企業に省エネ診断を 依頼した
	411	417 排出量 9,536			
【1.1】 電力使用量 原単位 kWh/t	1%削減		電力見える化 工程改善実施 省エネ設備更新	×	変圧器 1 基、冷凍機 3 基、 空調機 1 基を更新
	615	634			
【1.2】 ガス使用量 原単位m ³ /t	1%削減		工程改善実施 熱交換効率向上	○	蒸気ボイラー3 基を更新、 高圧蒸気ラインに計測器 を取り付け原単位管理を 開始した
	50.0	48.5			
【2】 産業廃棄物 排出量 t	3%削減		動植物系残渣削 減 廃プラ削減	×	各部署で削減活動を実施 しているが排出量削減に つながらなかった
	817	978			
【2.1】 動植物性残渣 排出量 t	3%削減		工程改善実施 シェル管理徹底 賞味期限切れ原 材料削減	×	仕損品が多かった
	511	610			
【2.2】 廃プラスチック 排出量 t	3%削減		包材ロス削減 廃棄分別推進	×	仮取り包材の削減に努め た
	288	315			
【2.3】 食品リサイクル率 実施率%	維持		新規開拓	○	副産物の新規業者 1 社と 契約締結した
	95.0	98.0			
【3】 水使用量 原単位m ³ /t	1%削減		洗浄時節水 温水槽点検	○	目標達成: 冷却塔自動薬注 装置導入で適切な水質管 理で無駄なブロー水を抑 制した
	2.79	2.76			
【4】 化学物質購入量 原単位 g/t	3%削減		pH 電極の交換 実施	○	pH 電極を交換し反応が良 くなったことにより薬品 添加を抑制した
	8.7	5.2			
【5】 グリーン購入 環境配慮活動件数	維持継続		品目の現状維持	○	現状維持、工場内への持ち 込み制限があり品目を増 やせず
	80	80			
【6】 環境配慮活動 環境配慮活動件数	9 件以上	10	地域活動参加 地域情報共有	○	計画通り実施、工場内製品 移動をパレットボックス 化し段ボール購入量削減

※ガソリン・軽油を除く ※購入電力の排出係数：0.486 ○：目標達成、×：目標未達

※目標値で絶対値と原単位の両方が掲載しているものは原単位で評価

※食品リサイクル率内訳 ①発生量 1,387.1t ②発生抑制量 548.7t ③再生利用量 1,190.3t

④熱回収量 165.4t ⑤減量量 0t ⑥再生利用等以外の量 0t ⑦廃棄物としての処分量 31.4t

(2) 本社・地方営業所

(2018年4月～2019年3月)

	目標値	実績	主な取組内容	評価	2018年度取組み結果
【1】二酸化炭素 絶対値 t・CO ₂	1%削減		電気使用量削減 エコドライブ [®] 推奨	×	排出総量、原単位共に目標未達
	282	319			
【1.1】電力使用量 絶対値千 kWh	1%削減		共用部の節電 クールビズ [®] 実施	×	目標値未達。
	564	565			
【2】廃棄物 絶対値 t	1%削減		動植物性残渣排出量の削減	×	目標値未達
	45.4	55.4			
【2.1】産業廃棄物 絶対値 t	1%削減		サンプル在庫の管理強化 社内消費推奨	○	目標値達成
	13.9	13.1			
【2.2】一般廃棄物 絶対値 t	1%削減		コピー用紙の購入数量の把握 分別の啓蒙	×	目標値未達
	20.3	29.3			
【2.3】焼却廃棄物 絶対値 t	1%削減		マイカップ [®] の推奨	×	目標値未達
	12.4	13.0			
【3】水使用量削減 絶対値 m ³	1%削減		使用量の把握	×	目標値未達
	2,116	2,230			
【4】化学物質 絶対値 kg	—	33.6	使用数量の把握	—	2018年11月より算出開始。
【5】環境配慮活動 推進 活動件数	2件	1件	地域環境活動の積極参加、提案に基づく活動	×	地域美化運動を2018年5月に実施、目標2件未達

※購入電力の排出係数：0.418

○：目標達成、×：目標未達



6. 2019 年度取組み内容

(1) 中井工場

【1】二酸化炭素排出量の削減

【1.1】電力使用量の削減

- ・電力原単位管理データ収集
- ・省エネ設備への更新
- ・エアー漏れ箇所の補修
- ・空調・チラー等設備保守管理
- ・共用部分の照明 LED 化
- ・蒸気ボイラーの定期点検実施
- ・蒸気漏れ箇所の補修

【1.2】都市ガス使用量の削減

【2】産業廃棄物の削減

【2.1】動植物系残渣排出量の削減

- ・発生原因の分析と排出量削減活動

【2.2】廃プラ排出量の削減

- ・分別の徹底やリサイクル化の検討
- ・

【2.3】食品リサイクル率の維持

- ・リサイクル業者の開拓

【3】水使用量削減

- ・使用量の調査と節水の取り込み

【4】化学物質購入量削減

- ・pH 電極の管理

【5】グリーン購入

- ・品目数の維持

【6】環境配慮活動

- ・地域環境活動への積極参加
- ・地域環境の情報共有
- ・工場内製品移動の際パレットボックスの使用による段ボール使用量の削減

(2) 本社・地方営業所

【1】二酸化炭素排出量の削減

【1.1】電力使用量の削減

- ・エアコン室度の管理（夏季：26～28℃、冬季：20～22℃設定）
- ・クールビズの実施（5 月～10 月）
- ・共用部の節電
- ・乾燥除湿機の省力機への切替検討（アネックスビル）

【2】廃棄物の削減

【2.1】動植物系残渣排出量の削減

- サンプル在庫管理の強化
- ・サンプルの賞味期限確認（月 1 回）
- ・社内消費の推奨（各フロアへの配布）
- ・分別の周知徹底

【2.2】一般廃棄物の削減

- コピー用紙使用量の削減
- ・コピー用紙使用量の把握

【2.3】焼却廃棄物の削減

- ・マイカップの奨励

【3】水使用量削減

- ・使用量の把握(本社ビル単位)
- ・蛇口水量調整

【4】化学物質の適正管理

- ・使用数量の把握

【5】環境配慮活動推進

- ・地域美化活動

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の関係主要法令

- ①省エネ法（特定事業者、第一種エネルギー管理指定工場）：定期報告書、中長期計画書提出
- ②温対法：【省エネ法 定期報告書】で報告
- ③大気汚染防止法：ばい煙測定実施（年2回）
- ④悪臭防止法：敷地境界測定実施（年1回）
- ⑤廃棄物処理法：委託業者契約確認（許可品目、許可証有効期限等）、現地確認実施
産業廃棄物処理計画書等の提出
- ⑥食品リサイクル法（食品製造業の再生利用等実施率目標95%）：定期報告書提出【98.0%】
- ⑦容器包装リサイクル法：特定容器利用事業者として再商品化義務を履行
- ⑧下水道法：放流水測定分析（年6回）
- ⑨労働安全衛生法：統括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者の選任、届出
- ⑩消防法：防火管理者の任命、届出
- ⑪県条例、町条例：遵守

(2) 違反、訴訟等

特定した環境法規その他要求事項について遵守状況を確認した結果、違反事項はありませんでした。
また、関係行政機関からの法規制違反等の指摘、訴訟なども発生しておりません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

①中井工場

- ・二酸化炭素排出量原単位の削減活動では、電力原単位の悪化の原因追及を確実に実施し、その対策を立案すること。
- ・廃棄物の削減活動では、動植物性残渣の不適合品の発生を抑えること。特に人的要因による発生を防止すること。及び防除設備の充実を図ること。

②本社・営業所

- ・エコアクション21の取り組みに対してもっと理解を深めること。
- ・廃棄物の削減活動では、一般廃棄物の発生量が増加しているため原因追及と対策を実施すること。

(2) 見直しの結果

①環境方針

環境経営方針へ移行出来るよう見直し・追記すること

②環境目標

環境経営目標へ移行出来るよう見直し・追記すること

③環境活動計画

環境経営計画へ移行出来るよう見直し・追記すること

以 上